

事業名：若年層を対象とした事業所歯科健診・歯周病検査及び、組合員の口腔リテラシー向上事業

健保名：南都銀行健康保険組合



## エグゼクティブサマリー

### 背景と課題

- ・全年齢層のほぼ2人に1人に4mm以上の歯周ポケットのある歯（歯周病）がみられ、高齢になるほどその割合が高くなることなどが明らかになっている。
- ・歯周病は歯を失うだけでなく、糖尿病や動脈硬化などの生活習慣病を引き起こす原因でもあり、アルツハイマー型認知症との関連が指摘されている。
- ・当組合の歯科関連疾患（歯肉炎・歯周炎）の疾病別医療費は最も高く、最も人数が多い。
- ・う蝕も上位疾病に含まれており、早期発見と予防が急務である。

### 目的

- ・組合員全体の口腔リテラシーの向上を目的とし、若年層にはより歯科健康に対する意識を高めるため、歯科健診や啓発活動を通じて、歯の健康が全身の健康維持に重要であることを広める。早期発見・予防強化を行い、予防歯科の重要性を認識させる。これにより歯科疾患の予防だけでなく、将来にわたる全身の健康意識向上を目指す。
- ・口腔の健康維持を通じて全身疾患や生活習慣病の予防を促進し、将来的な医療費削減を目指す。  
2024年度厚生労働省の「就労世代の歯科健康診査等推進事業」に参加したことをきっかけにさらに一歩踏み込み、当組合および事業者が役割を明確にして成果を求めることで、より主体的な事業とする。
- ・歯科疾患の予防活動が社会全体に与える影響を広め、企業や地域社会全体での取り組みを強化。これにより、予防文化を根付かせ、医療費削減と健康促進を実現する。

### 事業概要

- ・組合員全員を対象に、口腔リテラシーを高めるための動画視聴（eラーニング）を実施。
- ・若年層を対象に、定期健康診断と連携した事業所歯科健診を行い、従業員の歯科健診受診率向上を図る。
- ・事業所歯科健診後の行動変容（歯科受診）の状況を確認し、その状況により要受診者（むし歯・歯周病・1年以内の歯科医院未受診）への継続的な歯科医院への受診を促進し、事業効果を高めていく。

### 結果・成果

視聴後の口腔リテラシー定着率

**95.8%**（支払条件：85%）

達成

要受診者の受診後歯科医院受診率

**33.9%**（支払条件：17.5%）

達成



## 1. 目的

### <保健事業としての目的>

**当組合では歯科関連疾患（歯肉炎・歯周炎）の疾病別医療費は最も高く、最も人数が多い。またう蝕も上位疾病に含まれており、早期発見と予防が急務であることから、以下を保健事業としての目的とする。**

- ・組合員全体の口腔リテラシーの向上、特に若年層に対して歯科健診を実施することで歯科健康に対する意識を高め、長期的な健康づくりにつなげる。
- ・歯の健康は全身の健康維持に重要であることを広め、歯科疾患の予防だけでなく、全身の健康意識向上を目指す。
- ・口腔の健康維持を通じて全身疾患や生活習慣病の予防を促進し、歯科医療費のみならず全体としての将来的な医療費削減を目指す。
- ・歯科疾患の予防活動が社会全体に与える影響を広め、企業や地域社会全体での取り組みを強化。これにより、予防文化を根付かせ、国の医療費削減と健康促進を実現する。

### <PFS事業としての目的>

**当組合および事業者が役割を明確にして成果を求めることでより主体的な事業とするため、以下をPFS事業としての目的とする。**

- ・成果指標としての、「①eラーニング視聴後の口腔リテラシー定着率」、および「②歯科健診受診後の要受診者の行動変容率（歯科医院受診）」を達成するため、効果的な実施内容および勧奨方法の検証および確立を目指す。
- ・上記を短期目標として実施し、今後の中期・長期目標達成に向けた検討材料とする。
- ・具体的な指標を設けることで、保健事業実施後の効果検証や次年度に向けた事業内容検討の際の参考値とする。
- ・歯科保健事業における効果的な行動変容施策を実践・確立することで、他の保険者を含めた歯科保健事業の実施効果の事例をつくり、実施にあたっての判断材料を提供する。

## 2. 事業内容

### 実施内容

※委託事業者：株式会社ハミエル

組合員全員を対象に、口腔リテラシーを高めるため動画視聴及び理解度テストを行った。  
その後、若年層に向けて健康診断と連携した事業所歯科健診（口腔内診査・歯周ポケット検査・対象者のみ歯周病リスク検査）を実施し、受診者の口腔健康状態の診査を行った。また、診査結果に基づき、要受診者（むし歯・歯周病・1年以内の歯科医院未受診）への受診勧奨を行った。さらに、歯科健診実施後にメール等で再度受診勧奨通知を送信したほか、アンケートにより要受診者の受診行動や口腔リテラシーの向上について検証した。

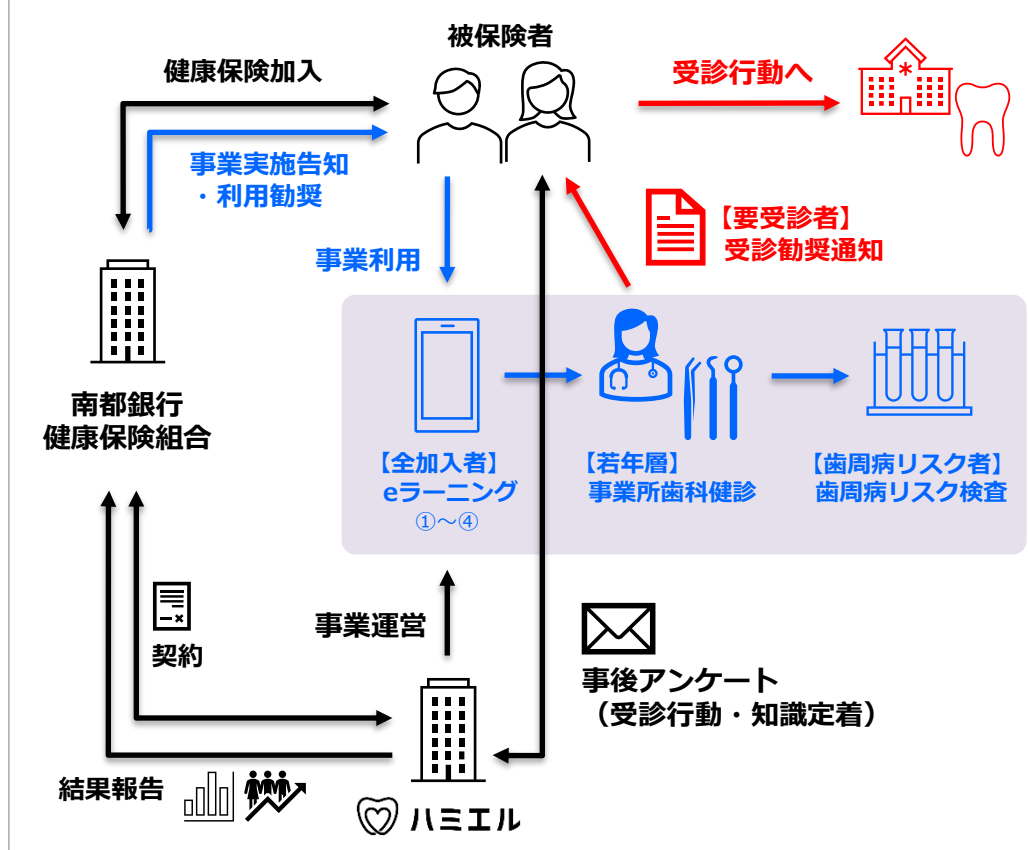
### 事業実施の流れ

実施月	実施内容
令和7年6月	事前打ち合わせ
令和7年7月	eラーニング第1回
令和7年10月	eラーニング第2回/ 事業所歯科健診
令和7年11月	eラーニング第3回/ 事業所歯科健診
令和7年12月	eラーニング第4回/ 事業所歯科健診
令和8年1月	10月歯科健診要受診者へのアンケート
令和8年2月	11月歯科健診要受診者へのアンケート
令和8年3月	12月歯科健診要受診者へのアンケート

#### ●各実施内容の目的

- ・eラーニング：歯科リテラシー向上を促進
- ・事業所歯科健診：現在の口腔状態の共有と高リスク者の特定
- ・歯周病リスク検査：定量評価と重ねての受診勧奨
- ・要受診者へのアンケート：高リスク者の行動変容測定

### 事業概要図

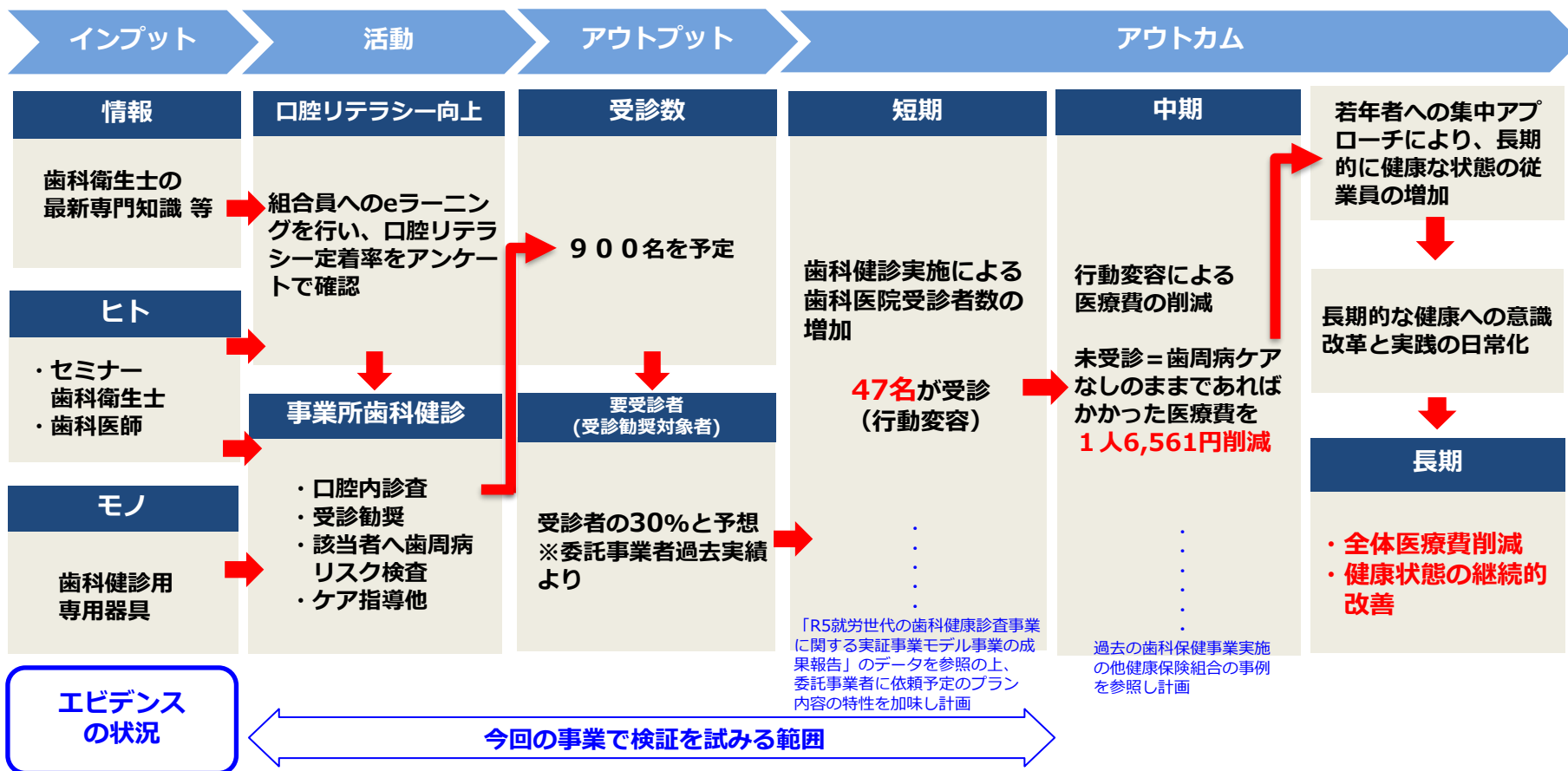


### 3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル

#### 支払条件

- ① eラーニング視聴後の口腔リテラシー定着率85%
- ② 要受診者の歯科健診受診後3か月時点における歯科医院への受診率17.5%

#### ロジックモデル



## 4. 主な活動報告

### ● eラーニング

事業所歯科健診に向けた知識の下地づくりとして全被保険者を対象に実施

気づいた今が、定期健診のはじめ時！  
**第4回 定期健診の必要性とメリット**

定期健診はなぜ必要なの？どんなことをするのか？  
 行くとなんか良いことがあるの？  
 今回はそんな疑問にお答えしていきます。  
 定期健診の大切さを知って、大切な歯と健康なお口を守っていきましょう！

視聴期間 **2025年12月8日(月) ~ 2026年1月7日(水)**

対象者 **南都銀行健康保険組合 被保険者**

通勤や昼休みなどのスキマ時間を活用してお口の健康について学びましょう。全ての動画を視聴して理解を深め、確認テスト 正答率100%を目指しましょう！

QRコード読み込み後パスワード  
 専用のURL・QRコードを読み込んでPCまたはスマホで簡単アクセス  
 隙間時間にお手軽にお口健康について学びましょう！

※これまでの動画(第1回~第3回)もアーカイブ公開中！

### 告知チラシ

- ・「自分ごと」に繋がるタイトルとなるよう工夫
- ・スマホ、隙間時間、短時間で学べることを訴求
- ・動画視聴によりヘルスケアポイントを付与

### ● 事業所歯科健診

行動変容に繋げる具体的施策  
 歯科医師による歯科健診と受診勧奨その他実施

このQRコードより、メールアドレスを  
**必ずご登録ください！**  
 ※未登録の場合、健康保険組合よりご連絡いたします。

※ご登録のアドレスは、受診勧奨通知、アンケート送信に利用します。  
 国の補助金を活用した事業となるため、必ずご登録をお願いいたします。  
 ※入力時はメールアドレスに間違えがないか十分ご確認ください。  
 正しいメールアドレスで入力いただいた場合は、このフォームのコピーがご登録のアドレスあてに届きます。

あなたは歯科健診で「要受診」と診断されました  
 早めにお近くの歯科医院をご受診ください！

むし歯や歯周病は自然には治りません。  
 特に「歯周病」は自覚症状なく進行し、状況が進行すると、様々な病気や、歯を失う原因となります。  
 また、早期に治療すれば、治療期間や費用が少なくなります。

来週1~2週は  
**歯科医院で定期健診を受けましょう！**

1 早期発見・早期治療が可能  
 2 早期治療で時間と治療費の節約  
 3 将来自分の歯を失わぬ

歯科医院検索・予約なら  
**歯科タウン**

※QRコードを  
 歯科医院で  
 検索できます

株式会社ハミエル (委託元:南都銀行健康保険組合)

### 受診勧奨通知

- ・むし歯・歯石中度以上・歯周炎の方に受診勧奨通知を発行
- ・歯肉炎・歯石中度以上・歯周炎の方に歯周病リスク検査実施
- ・受診行動の後進いができるようにメールアドレスを取得

### ● 歯周病リスク検査（ペリチェック）

歯周病リスクへの認識を高め、受診行動を促す施策  
 事業所歯科健診での高リスク者に対し実施

検査機関：株式会社保健科学西日本

100-1000  
 東京都千代田区丸の内1-1-1  
 健康経営センター60874号室  
 〒100-1000 丸の内  
 健康 花子 様  
 株式会社ビゼル  
 からのお知らせ

お客様ID: 1535  
 団体ID: 00000001  
 所属名称: B2L健康プラス

**歯周病リスク検査「ペリチェック」結果のお知らせ**

歯周病のリスク、進行度を診断するため、採取いただいた歯周ポケット内に出てくる液の成分を調べた結果です。  
 検査結果は、採取箇所の歯槽中探査部位により変動することがあります。  
 今回の検査は口内全体の状態を反映するものではありません。参考値としてお口の健康管理にお役立てください。

(総合評価) ◆総合評価基準は3段階です 異常なし ◯◯◯ 軽度注意 ◯◯◯ 重症注意

**異常なし**

お口の健康状態は良好です。お口の健康を未来につなげよう！  
 このまま良好な状態を継続しましょう。歯周病は歯槽まで予防することができます。毎日の歯磨きを正しく行い、定期的な歯科健診でチェックしていきましょう。歯周病は歯ぐきの症状なく進行します。診断せず、お口の健康をあなた自身で守っていきましょう。

検査項目	基準値	今回 2022/07/28		前回		前々回	
		結果	判定	結果	判定	結果	判定
LI (ラクトフェリン) 歯周病の炎症 (炎症の度合い) の予測ができます	0~0.4 μg/μL未満	0.17	(-)				
AI (α1アンチトリプシン) 現在の歯周病の進行度が確認できます	0~0.4 μg/μL未満	0.29	(-)				
AST (アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ) 歯周組織の破壊度が確認できます	0~10 IU/L未満	2	(-)				

※検査結果は、採取箇所の歯槽中探査部位により変動することがあります。  
 ※14日間の検体有効期限。1臨床検体の検体有効期限は異なりますので、参考値としてご覧ください。

検査日 2022/07/21

大きなリスクは見当たりませんでした。生活習慣に注意して現状を維持しましょう。

問診	回答			問診	回答		
	今回	前回	前々回		今回	前回	前々回
歯がしめたり痛んだりすることはありますか?	はい			心臓病の治療を受けていますか?	いいえ		
夜でも噛んで食べられますか?	食べられる			歯茎 (歯ぐき) が腫れたり痛みませんか?	はい/いいえ		
歯が抜けたり歯が揺れたりしますか?	いいえ			タバコを吸っていますか?	いいえ		
口臭が気になることがありますか?	いいえ			ゆくゆく歯ぐきから出血していますか?	はい		
お口が乾いていたり感じますか?	いいえ			歯の清掃をしていますか?	はい		
歯をみがいたあと、歯ブラシが歯ぐきについて、すすんだり歯ぐきが赤くなることはありませんか?	いいえ			歯磨きは歯茎・歯肉を傷つけていませんか?	はい/いいえ		

### 結果表

- ・歯科健診と同時実施することで対象者絞り込みが容易
- ・3指標 (出血・炎症・組織破壊) の定量検査で明確
- ・自宅に届ける結果表を通じ重ねての受診勧奨が可能

## 5. 保健事業としての成果と評価（1）

### 出張歯科健診

#### ●実施基本情報

項目	内容
実施事業所数	24事業所
受診対象者	38歳以下の被保険者約900名
実施方法	定期健康診断との同時実施
実施内容	歯科医師による口腔内診査（歯周ポケット測定含む）及び受診勧奨

#### ●実施結果

項目	内容
受診者数	682名（受診率76% ※対象者900名中）
要受診者	56名（むし歯・歯周病疑い・歯石中度以上 ※治療中除く）
要受診者割合	8.2%（受診者682名中）
要受診者の受診後 歯科医院受診率	33.9%（要受診者56名中）

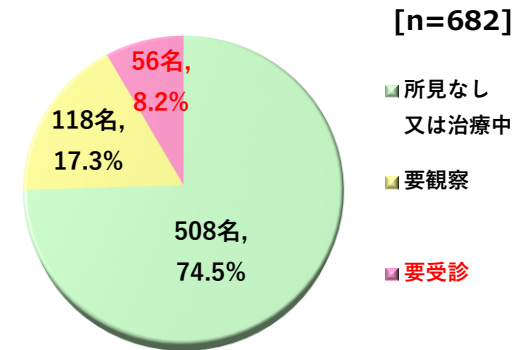
#### ●要受診者への行動変容アプローチ

- ・歯科医師より、早期受診が勧奨されることを口頭および通知書で説明
- ・受診行動を測定するアンケートを後日送るためのメールアドレス登録の依頼
- ・歯肉炎・歯周炎疑い、歯石付着中度以上の方には、歯周病リスクチェックを実施

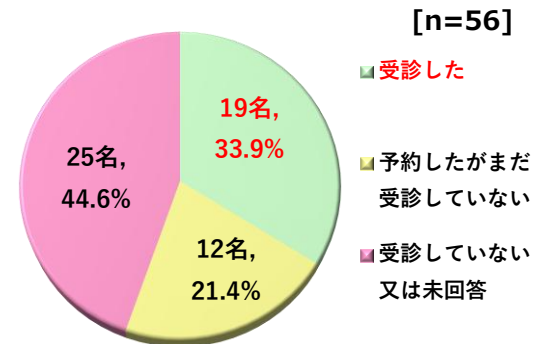
#### ●保健事業での実施成果

- ・若年層の口腔状態・要受診状況の全体把握ができた。また、定期健康診断との同時実施により、高い受診率を得られた。
- ・歯科医師から、お口の健康と体の健康の関連やセルフケアのポイントを伝えることで、歯科リテラシー向上の場を設けられた。
- ・要受診者に対し、受診行動につながる施策を複数（受診勧奨通知・歯周病リスク検査・eラーニング）実施することができた。

#### 歯科健診総合結果



#### 要受診者の歯科健診受診後 歯科医院受診状況



## 5. 保健事業としての成果と評価（2）

### その他実施内容

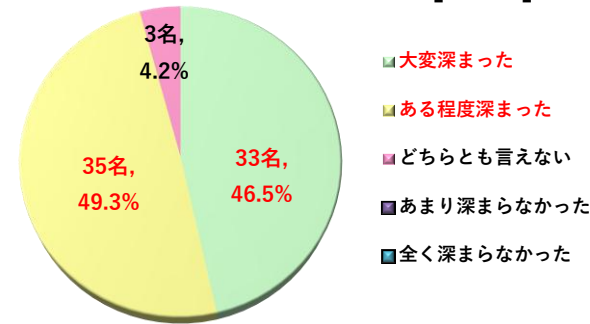
#### eラーニング

項目	内容
受講対象者	全被保険者2,956名
実施方法	社内通達・MY HEALTH WEBの通知で送信したQRコード・URLから視聴
実施内容	全4回実施。各回5分程度の動画視聴および理解度テスト（3問）
受講数	126名（受講率4.3% ※対象者2,956名中）
受講後アンケート回答数	71名（回答率56% ※受講者126名中）
知識定着率	95.8%（大変理解が深まった・ある程度深まった）



#### 受講後アンケート結果

[n=71]



#### 【eラーニング各回のテーマ】

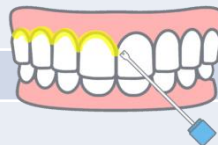
- 第1回：歯周病と全身疾患について
- 第2回：歯周病について(応用編)・自覚症状チェック
- 第3回：セルフケアのポイント
- 第4回：定期歯科健診の必要性とメリット

#### ●保健事業での実施成果

- ・当初受講数が伸び悩むも、インセンティブ（ヘルスケアポイント付与）を組み合わせ、受講数が増加した。
- ・事業所歯科健診の実施前に、eラーニングで歯科の大切さの周知機会をつくることができた。
- ・受講者のほとんどが、口腔リテラシーの向上を感じたことがアンケートから確認できた。

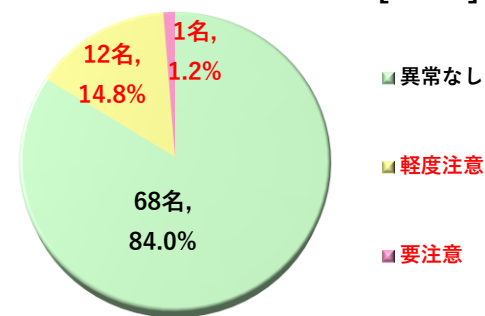
#### 歯周病リスク検査（ペリチェック）

項目	内容
受検対象者	歯科健診受診者の内、歯肉炎・歯周病疑い・歯石中度以上 ※既に治療中の場合を除く
実施方法	歯科健診ブース内にて歯科医師により検査実施
実施内容	歯と歯ぐき間の歯肉溝滲出液を専用ブラシで採取
受検数	81名（受検率11.9% ※歯科健診受診者682名中）
リスク率	16%（軽度注意および要注意の結果となった割合 ※受験者81名中）



#### 歯周病リスク検査総合結果

[n=81]



#### ●保健事業での実施成果

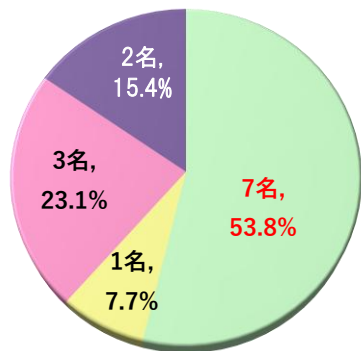
- ・歯科健診で実施する歯周ポケット測定と合わせ、3指標（出血・炎症・組織破壊）の定量検査により、歯周病リスクの意識づけを行った。
- ・歯科健診実施から約2～4週間後、自宅に結果表が届くことで、再度の受診勧奨や意識づけの機会を持つことができた。

## 5. 保健事業としての成果と評価（3）

### その他の結果

未受診者（13名）が  
受診しなかった理由

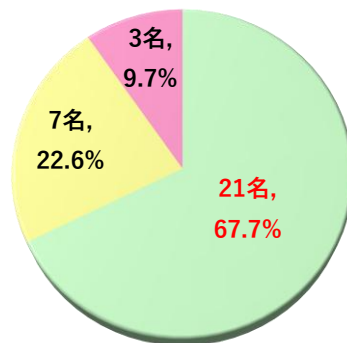
[n=13]



- 忙しくて時間がなかった
- 費用が気になる
- 痛み等の症状がなかった
- 行くきっかけがなかった

歯科健診後歯科医院受診者・受診予定者  
（31名）の当事業利用前の歯科受診状況

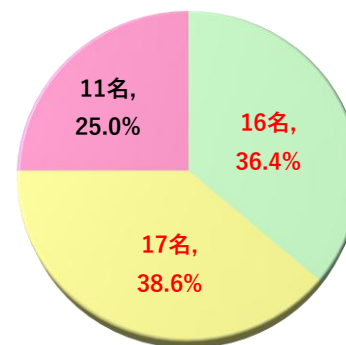
[n=31]



- 歯科には1年以上行ってない
- 定期的に歯科受診している
- 歯科で治療中

当事業利用前と比べ歯周病や  
お口の健康に対する関心の変化

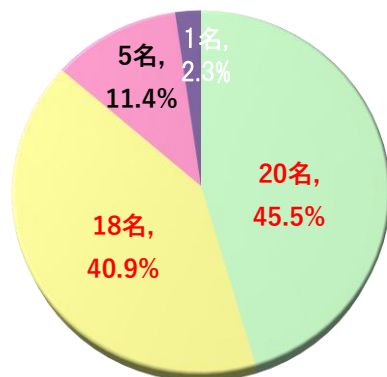
[n=44]



- 以前より強く関心を持つようになった
- 少し関心が高まった
- 特に変化なし

今後の定期的な  
歯科受診への意思

[n=44]



- 強く思う
- どちらかといえば思う
- あまり思わない
- 思わない

#### ●ポイント

- ・ 要受診者で未受診の方が受診をしなかった理由としては、「忙しくて時間がなかった」が最も多かった。
- ・ 歯科健診後、歯科医院を受診した方・受診予定の方について、67.7%が過去1年間に受診をしていなかった。
- ・ 当事業を利用したことで、お口の健康に関心を持った方は75%にのぼった。
- ・ 当事業を利用したことで、今後定期的に歯科受診をしようと思った方は86.4%にのぼった。

## 6. PFS事業としての成果

### ● 成果指標について

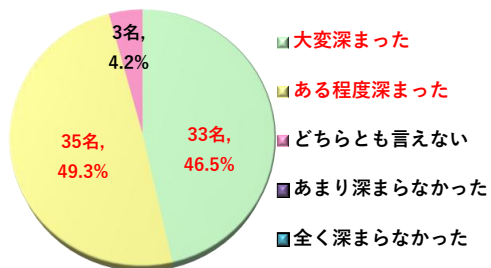
項目	内容
成果指標	①eラーニング視聴後の口腔リテラシー定着率 ②歯科健診受診後の要受診者の行動変容率（歯科医院受診）
指標の採用理由	口腔リテラシーを高めることや、高リスク者を特定し、その後の行動変容（受診）に繋がることで、当組合の課題である歯科医療費の低減や、中長期的には生活習慣病医療費の低減にも資するものと仮定し採用した。
成果集計の方法	①eラーニング受講者へのメール等でのアンケートによる ②要受診者へのメール等でのアンケートによる
目標値	①eラーニング視聴後の口腔リテラシー定着率85% ②要受診者の歯科健診受診後3か月時点における歯科医院受診率17.5%

### ● 成果集計結果について

#### ① eラーニング



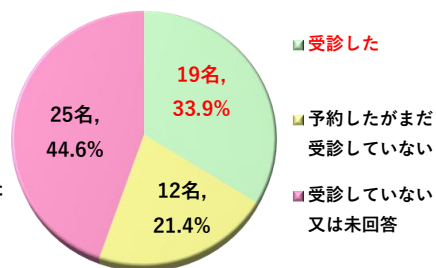
[n=71]



#### ② 出張歯科健診



[n=56]



中期目標の歯科医療費の削減・  
長期目標の全体医療費の削減や  
健康状態の継続的改善への足掛かり

● 中期目標での歯科医療費削減効果シュミレーション（参考値）  
本事業費の成果連動分（当初想定と同単価で計算）  
総額：478,628円（税込）・・・①

① ÷ 歯科医院受診者31名（受診予定含む） = 15,440円・・・②

1人あたり年間医療費予測（歯周病未ケア者）20,000円－②  
= **1人4,560円の削減効果と予測**

### ● ポイント

- ・ eラーニング受講者の口腔リテラシー向上効果があったことが確認された。
- ・ 要受診者の行動変容（歯科医院受診）について一定の効果が確認された。
- ・ 実施内容について、①eラーニング→②歯科健診→③要受診者等への受診勧奨・歯周病リスク検査と段階的に実施することで、歯科予防の意識醸成と行動変容を促すしくみを構築できたものとする。

## 7. 今後の事業方針

### ・ Webラーニングの受診率向上について

短時間・スマートフォンで気軽に学べることを周知したことで、一定数の受講があった。一方で無関心層に対しては、必要性を訴えるだけでは一定以上の受講に繋がらない状況があり課題と考えられる。今回はインセンティブ（ヘルスケアポイントの付与）を併用したところ受講数は大幅に伸びた。組合員全員対象で、より多くの利用に主眼を置く段階では、インセンティブの併用に有用性があるものと考えられる。

### ・ 歯科健診実施対象者の設定について

早い段階から歯科健康に対する意識向上を目的として、対象者を若年層に絞り実施した。歯科健康の意識が向上したことを示すアンケート結果や要受診者の受診行動にも繋がっていることから、その目的にかなった結果であったと考える。当面は長期にわたる健康づくりの観点から、若年層を対象として継続していきたい。なお、若年層以外の年齢層に対しどのようにアプローチしていくかについても今後検討していきたい。

### ・ 歯科健診受診率の向上について

歯科健診受診率は、定期健康診断に組み込んだこと、多くの会場で同一の部屋を使用したこと、定期健康診断実施機関と連携し歯科への誘導を徹底したことなどにより、一定の受診率を確保した。一方で広さ等で歯科健診が実施できなかった会場や、定期健康診断を実施しない会場などで実施が難しい場合があり、その受診率向上策が課題と考える。その場合、より歯科健診の実施内容をシンプルにして必要スペースを絞る、歯科健診の実施が難しい事業所では、歯周病リスク検査を併用するなどの方法を検討していきたい。

### ・ 受診後アンケートの回答率向上について

メールアドレスを登録してもらい、そのメールアドレスに対してアンケートを送信する方法とした。当初なかなか登録が進まず、メールや書面での登録の呼びかけに工数を要した。またアンケートについてもなかなか回答が集まらず、メール・書面での回答依頼を繰り返し一定の回答数を得た。この点は今後の課題として、アンケートをよりシンプルにすることやシステムなどを介したメール送信、またアンケートとは別の方法として、レセプトデータの突合により受診状況を確認するなどについても検討を進めていく。